

【会議録】第10回 筑紫野市コミュニティ連絡会議

《日時》 平成28年7月6日（水） 9時30分から12時10分まで

《場所》 生涯学習センター2階 特別会議室

《参加者》 各コミュニティ運営協議会（会長）7人、市職員（総務部）4人

1 パートナーシップ協定書調印式

原案のとおり、市と各コミュニティ運営協議会との間で協定を締結した。

2 市等との意見交換

(1) 赤い羽根協働募金等について（市社会福祉協議会）

- ・各協議会の会議に市社協職員が出席し、各行政区に対して説明する。
- ・来年度からは、コミュニティに対する助成金を検討する。
- ・次回連絡会議にて、社協の理事、評議員の件について再協議する。

(2) 第二次筑紫野市市街化調整区域整備保存構想について（都市計画課）

- ・審議会の委員として、山口コミュニティから1人を推薦する。
- ・10月～11月を目処に、山家を除く6地域において、地域別意見集約会を開催する。日程は8月3日までに調整する。

(3) 敬老会に係る開催案内の通知方法について（高齢者支援課）

- ・各協議会において検討し、7月13日までに確認する。

(4) 文書の取扱について（市民協働推進課）

- ・防災に関することをはじめ、各種研修会のお知らせについて、市から各協議会に通知する。

3 各協議会の情報交換

(1) 活動の方向性について

単発のイベント型事業だけでなく、各行政区の自主防災組織の連携及び活動の底上げに関する取組など、地域活動の充実化を検討すべきである。

(2) 市との協働の取組について

コミセン主催講座への参画及び共催化を推進すべきである。また、今後の方向性として、特に防犯や防災に係るテーマについて、市所管課との連携を密にすべきである。

(3) 各協議会が策定する長期計画（まちづくり計画）について

市との協働を見据え、市の総合計画をはじめ各種計画の方向性に沿うよう検討すべきである。

(4) 連絡会議について

9月を目処に事務局長の同席、その後、事務局長会議の設置を検討する。

4 次回の会議

8月3日（水）の9時30分から開催する。